

透析患者受け入れ・連携のご案内

公益社団法人 山梨勤労者医療協会
巨摩共立病院 透析室

巨摩共立病院透析室は、これまで地域医療の中で透析医療を提供し
2025年度には透析開始40周年を迎えていきます。長年にわたり蓄積してきた知識と経験を基に、
現在も安全で安定した維持透析医療を提供しています。

透析導入後の受け入れ、入院中透析、高齢者・多疾患合併患者の透析管理など、
地域医療機関との連携を重視し、幅広い症例に対応可能です。

透析室の特徴

20年以上に渡る外来透析患者
の送迎対応をはじめ、入院が必要な透析患者の状況に合わせた
病棟で安心して治療・療養を
サポート致します。

療養病棟の特徴

医療依存度が高い、長期療養が必要な透析患者の受け入れが
可能です。全身管理・栄養管理・透析管理を含めた包括的
医療を提供します。

地域包括ケア病棟の特徴

急性期治療後や在宅・施設復帰
を見据えた透析患者に対し、
全身管理・リハビリテーション
退院支援を行えます

回復期病棟の特徴

脳血管障害、整形外科疾患、
廃用症候群などを合併した透析
患者さんに対し、リハビリテー
ションと透析治療を並行して
実施できます。



医療・介護・福祉との連携体制の提供に取り組んでいます

高齢化が進む透析医療において、医療のみならず介護・福祉との連携が重要であると考えています。

1. 医療連携

急性期疾患を発症した場合には、急性期医療機関と連携し、専門治療に専念できる体制を構築しています。急性期治療後は、病状に応じて当院での透析継続・回復期・療養期医療へ円滑に移行可能です。

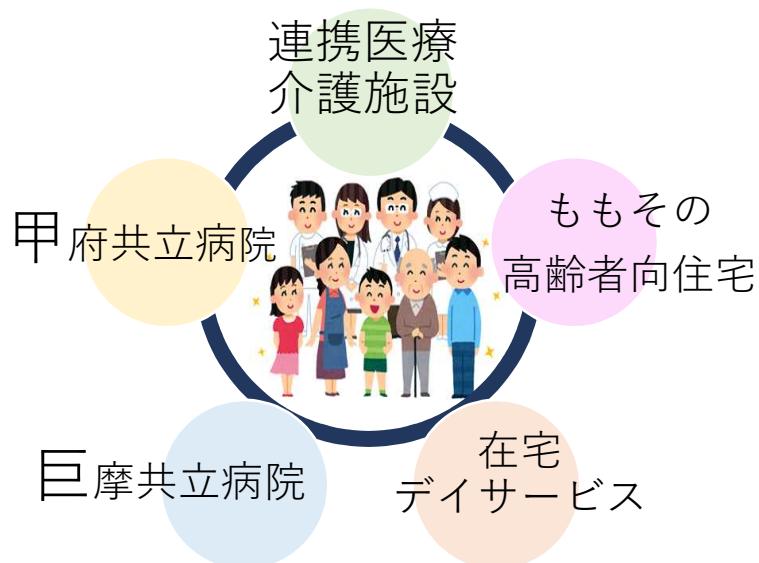
2. 介護との連携

介護支援専門員（ケアマネジャー）と情報共有を行い、介護保険サービス利用を含めた退院・通院支援を行います。

3. 福祉との連携

地域包括支援センター等と連携し、独居・老老介護など社会的課題を抱える高齢透析患者さんの支援に取り組んでいます。

医療・介護・福祉が連携することで、急性期から回復期・療養期まで切れ目のない透析医療を提供します。



施設概要

ベッド数	: 151床 (一般7床、地ケア46床、回復期50床、療養48床)
透析ベッド数	: 30床
透析種別	: HD、I-HDF、OHDF、β2吸着、レオカーナCART、GCAPなど
対応患者	: 外来透析患者、入院透析患者
送迎	: 送迎ありご相談下さい

お問い合わせ先

巨摩共立病院 地域医療連携室 TEL : 055-283-3131
FAX : 055-282-5614

※内容は運用状況により変更となる場合があります